

令和3年度主催事業「お泊り体験英彦山青年の家」事業報告

○開催日：第1回「星空ウォッチ」 令和3年 7月17日(土)～ 18日(日)・22日(木)～23日(金)

第2回「テント泊」 令和3年 9月11日(土)～ 3日(日)※コロナのため中止

第3回「ナイトハイク」 令和3年 9月25日(土)～ 26日(日)※コロナのため中止

第4回「野外カレー」 令和3年10月 2日(土)～ 3日(日)

第5回「星空ウォッチ～秋空編～」 令和3年11月13日(土)～14日(日)

○参加者数：第1回：各15組 第4回：10組 第5回：10組

○会 場：英彦山青年の家



事業の目的

家族や2～4人のグループに青年の家の利用の仕方やよさを広めることを目的としました。



昼の活動1 ひこさん BIG シャボン玉

ひこさん BIG シャボン玉作りでは、まず、手順に沿って材料を混ぜ、シャボン玉液を作りました。その後、つどいの広場や芝生広場でシャボン玉棒を巧みに操作して、大きなシャボン玉や、細長いシャボン玉等の様々な形・大きさを作り遊んでいました。時間が経つにつれて、大きなシャボン玉を作ろうと競争したり、空を舞っているシャボン玉を追いかけたりするなど、熱中する姿が見られました。空にいくつものシャボン玉が流れていく光景は感動的でした。参加者から「こんなに大きなシャボン玉は初めて見ました!」との声が聞かれました。シャボン玉液がなくなってくると、子どもから「家でも作りたいから、作り方を教えて下さい」等の声も聞かれました。大人も子どもも、時間目一杯まで、シャボン玉で楽しむ姿が見られました。



昼の活動2 森の写真立て（イーゼル）作り

写真立て作りでは、まず、英彦山の森の中から、自分の作りたいイメージに合う大きさ・形の枝や落ち葉、こけ等を拾いました。そして、のこぎりを使い、枝を切りました。切り終えた後、枝と枝を組み、イーゼルを作りました。途中、組み立て方が分からないときは、兄弟や親に聞きながら家族で協力して組み立てていました。最後にどんぐりやまつぼっくり等を思い思いの場所にかざりつけた後、ペンで模様や文字を書き入れ、世界で一つだけの My イーゼルを完成させることができました。完成後、壊さないように大切に扱いながら、「家に置いて大事にしようね」「玄関に飾りたいね」等、親子で和やかに会話する姿が見られました。





夜の活動1 野外カレー作り

調理はキャンプ場へ移動して開始しました。まず、参加者は火おこしのための杉の葉や枝を山に探しに行きました。子どもが中心となり「この木は長いかな?」「杉の葉はこれぐらいで大丈夫?」等、各々が火おこしに適した枝や葉をイメージしながら、拾いました。中には、子ども同士で協力して木を折ったり、杉の葉を集めたりする姿もありました。その後、野菜を切ったり、米を量って研いだりするなど、家族で分担して、てきぱきと活動することができました。ファイヤースターターを使った火おこしでは、なかなか火がつかず多くの家族が苦戦していましたが、火を起こせたときはみんなで喜び合っていました。出来上がったカレーを食べながら「こんなおいしいカレーは初めて」とうれしい悲鳴が聞こえてきました。食後は、残り火で焼きマシュマロをしたり、たき火をしたりと、思い思いに楽しんでいる姿が見られました。



夜の活動2 星空ウォッチ



【夏】(第1回星空ウォッチ)

当日は雲が出ており、満天の星は見えませんでした。しかし、夕方のきれいな夕焼け空や夏の三大角の一つであるベガ、水星等を見ることができました。また、つどいの広場で星空観察を行うときに、寝転びながら観察する参加者もいて、「寝ながら見る星は最高です」と大自然を堪能している姿が見られました。

講師の森本先生の講話は、星座や銀河、宇宙の話等、子どもから大人まで興味を引く幅広い内容になっており、参加者は天体の世界に引き込まれていました。

【秋】(第5回星空ウォッチ～秋空編～)

夏と同様に天気は曇りでしたが、森本先生の宇宙や惑星の話等の講話や、双眼鏡を使った月の観察、パソコンを用いた天体シミュレーションソフト「Mitaka」を操作しての惑星探索等で、「室内でも宇宙や星空を味わえる」と楽しむ参加者の姿が見られました。



全体を通して

今回のお泊り体験は、青年の家の魅力や利用の仕方を広めることが目的でした。そこで、青年の家が普段行っている各プログラムや講師をお招きしての星空観察を行いました。終了後のアンケートでは「自然の中で沢山遊べて大人も子どもも楽しめました。」「機会があればまた利用したい」「楽しい宇宙の旅ができた」「良い体験ができた」等の声が聞かれ、体験活動の楽しさや自然の偉大さを感じることができたと考えます。今後も体験活動を中心とした様々な事業を行い、施設の利用の仕方や魅力を多くの方に知っていただきたいと思います。参加された皆様、本当にありがとうございました。